

自由工房

社会教育施設における生涯学習への取り組みの必要性の増大に応じて、自主制作の場として実技室を開放する「自由工房」を、週末の金曜から日曜日に通年開室し、広く県民に創作活動の場を提供した。祝日を加え週3日から4日の開室であった。

自由工房（通年開室）

参加者の自主制作を基本とするため中学生以上の個人を対象とし、インストラクター来室日には実技上の相談や助言を行った。参加者の活動内容は、実技室が持つ大型の版画プレス機を使った各種の版画、デッサン、水彩画、油彩画、館所蔵の美術ビデオの鑑賞など。期間＝他の講座で実技室を使用する日を除く毎週末の金、土、日曜日と祝日を基本とする。

116日

10：00～16：00

インストラクター＝内山久子（美術家）

夏季自由工房『名画と遊ぼう』

収蔵品展で作品を鑑賞した後、模写したり自分なりの解釈でリメイクやコラージュなどして自分の絵を制作した。

期間＝2001年8月21日～26日（6日間）

10：00～16：00

インストラクター＝脇田千晶（画家）

参加者数（通算）＝95名

春季自由工房『絵画発見』

「静岡ゆかりの画家たち」展を鑑賞後、気に入った作品から生まれた連想や想像などにしたい自分の作品を制作した。

期間＝2002年3月22日～31日（9日間）

10：00～16：00

インストラクター＝脇田千晶（画家）

参加者数（通算）＝43名

ロダン館デッサン会

ロダン彫刻の素描を通してより鑑賞を深めると同時に、新たな創作の場となることを期して「ロダン館デッサン会」を実施した。ロダン彫刻を素描する機会の提供に主眼を置き、参加者同士で行う感想会を、毎回終了時に設けた。技術的指導はなし。

期間＝毎月第4金・土曜日（本年度計24回実施）

参加者数 197名

子どもたちの粘土開放日

友の会より寄贈された土練機と1t程の水粘土を使用し、少量での物作りとは違った感覚で粘土遊びを体験する会を実施した。親子での参加を基本とし、午前と午後の2つの時間帯を設けた。技術的指導はなし。

期間＝毎月第4日曜日を基本とし本年度は計10回実施した。

インストラクター＝石上和弘（彫刻家）

参加者数 1688名

版画入門

実技室で行われている自由工房の中に、版画入門の日を設けた。基本的な技法、材料の扱い方をインストラクターがわかりやすく説明しながら実演した。

銅版画 2001年7月1日・11月25日

シルクスクリーン

2001年9月16日・2002年2月17日

リトグラフ

2001年8月19日・2002年1月6日

10：00～16：00

インストラクター＝内山久子（美術家）

参加者数（通算）＝98名

絵画技法入門

本年度よりスタート。静岡県立美術館所蔵作品を用いて参加者が技法的な目線で鑑賞することにより、デッサン・エスキース・構図・色彩・画材・道具・描き方等の絵画技法を学んでいただいた。また、乾きが早く取り扱いが容易なアクリル絵の具を画材に採用した。

2001年5月12日、6月9日、7月14日、

2002年1月12日、2月9日、3月9日

（6日間）

10：00～16：00

講師＝脇田千晶（画家）

場所＝当館実技室

参加者数＝96名